



発行所 財団法人兵庫消防協会 神戸市中央区下山手通4丁目16番3号 編集発行人 岸谷義雄 定価 1部44円 (購読料は分担金を含む) 題字 井戸知事

「消したかな」 あなたを守る 合言葉

ひょうご消防のつどい 二〇二〇開催

県下消防団・消防本部の幹部六〇〇名が 丹波の森公苑につどい

平成二二年一〇月一七日(日) 兵庫県立丹波の森公苑でひょうご消防のつどい二〇二〇が開催されました。

表彰を、第二部に甲賀流水ノ川大鼓振興会によるアトラクション、そして第三部には東京都赤羽消防団副団長の小澤浩子氏を講師に迎え講演が行われました。



吉本副知事式辞



消防協会長表彰の伝達

次 第 第一部 開会のことば 足立副会長 国歌吹奏 黙祷 兵庫県消防協会長あいさつ 岸谷消防協会長



小澤浩子氏の講演

兵庫県知事式辞 吉本副知事 開催市長あいさつ(丹波市) 辻市長 表彰 兵庫県知事表彰・感謝 兵庫県消防協会長表彰・感謝 来賓祝辞 山本県議会議長 村上消防長会会長 受賞者代表謝辞 伊丹市消防局 消防司令長 福井浩次 アトラクション 「甲賀流水ノ川大鼓」 甲賀流水ノ川大鼓振興協会

第二回全国消防操法大会 結果速報! 十一月二日に愛知県蒲郡ポートレース場で開催された第二回全国消防操法大会において、兵庫県代表として出場した、福崎町消防団が小型ポンプの部で「優勝」の栄光に輝きました。本県代表の全国大会優勝は初の快挙です。(大会詳細は次号にて掲載予定)

第三部 講演 共に守る明日のために 消防団活動とこれから 東京都赤羽消防団 副団長 小澤浩子 閉会のことば 向内副会長

第二部のアトラクションでは、地元丹波市の甲賀流水ノ川大鼓振興会による太鼓演奏が披露されました。演奏曲は「秋月」、「流星」、「水ノ川隼太鼓」の三曲で、和太鼓、日本太鼓の音が会場全体に響き渡りました。 第三部は東京都赤羽消防団副団長の小澤浩子氏に「共に守る明日のために」消防団活動の課題とこれから」と題し、講演をいただきました。消防団を取り巻く現状とこれからの課題、女性消防団員の活動及び震災の被災地である兵庫の消防団としての活動の重要性を改めて認識できたお話しでした。 なお、今年度の表彰の栄に輝いた団体・個人は次のとおりです。

- 〇 竿頭級 明石市消防団 養父市消防団 南あわじ市消防団 〇 功労章 消防団員 五四名 消防吏員 八二名 〇 永年勤続功労章 消防団員 二二〇名 消防吏員 一一六名 〇 表彰状 三団体 兵庫県知事感謝 〇 永年勤続功労者賞 五名 〇 家族の賞 消防団員の部 四六三名 消防吏員の部 一〇一名 〇 親子二代の賞 七六組 〇 消防協力者賞 二人 〇 個人の部 四団体 兵庫県消防協会長表彰 〇 表彰旗 神戸市兵庫消防団 篠山市消防団



救急講習会



消火栓取扱訓練

平成二二年一〇月二日、兵庫県広域防災センターにおいて、平成二二年度女性消防団員研修会が開催されました。この研修会は、県下の女性消防団員を対象として、活動事例発表、意見交換会及び実技訓練を通じて、知識・技術の向上を図るとともに、女性団員の相互交流の場を設けて消防団活動に

平成二二年度女性消防団員研修会 県消防協会

兵庫県まとい会結成 二五周年記念大会開催 兵庫県まとい会事務局

- 稲美町消防団 〇 功績章 一四一名 〇 精積章 二二五名 〇 勤続章 三九七名 〇 精勤章 四四九名 〇 永年勤続表彰 二名 兵庫県消防協会長感謝 〇 家族の賞 一一一名 三〇年以上 二二名 四〇年以上 二二名 五〇年以上 四名



齊藤理事長の講演

昭和六一年に結成した兵庫県まとい会は今年度で二五周年を迎え、その記念を祝し、兵庫県まとい会結成二五周年記念大会が平成二二年一〇月二六日、南淡路ロイヤルホテルにて開催されました。 当日は、県から木村防災監と藤原災害対策局長を、県消防協会から岸谷消防協会長を来賓に迎え、ご祝辞をいただきました。 講演では、兵庫県国際交流協会理事長(前兵庫副知事)の齋藤富雄氏を講師に迎え、「苦

対するモチベーションの向上を図ることを目的に毎年実施しています。 今年度の研修会では、午前の部で、川西市女性消防団(チェリーファイヤー)による予防啓発紙芝居、その後班別に分かれ、①現在の活動内容と②今後の女性消防団員の在り方の二つのテーマについて討議し、班ごとに発表を行いました。 午後からは、二グループに分かれ、救急実習室で三角巾を用いた応急処置訓練と屋外での消火栓取扱訓練、地震体験及び耐熱訓練が行われました。 普段、地元では体験しにくい放水訓練、地震体験等は参加した団員の方にも好評でした。 今回の研修で得た知識・技術を各地で行われる訓練や研修の機会を活用していただきたいと思



加東市消防団の活動

加東市消防団では、消防団の活動を市民の方々により深く知っていただくことで新入団員の加入を促進するために、加東ケーブルテレビジョンと協力して、「知っていますかー加東市消防団の活動ー」を平成二二年四月に作成しました。

作成した番組は四月中にケーブルテレビで放送しましたが、消防団員の勧誘活動が本格化するこれから来年三月にかけて、ケーブルテレビで定期的に放送し、多くの方々に消防団の活動状況を理解していただくこと

知っていますか消防団 ー加東市消防団の活動ー

加東市消防団



滋賀県防災航空隊①



滋賀県防災航空隊②

阪神地区消防団長会 行政視察を実施

阪神地区消防団長会

阪神地区消防団長会は、平成二二年九月二八日、二九日にかけて滋賀県・愛知県方面に行政視察に出かけました。

前日から、近畿地方の一部に大雨が降り警報が発令され、天

氣予報では視察当日も雨の確率が八〇パーセント以上と、悪天候を覚悟していましたが、皆の視察に対する執念なのか、なんと青空一色の天候に一変。さわやかな秋晴れの中、出発となりました。

まず、一目目。集合には特に大きなトラブルは無く無事、全

員の集結が完了。早々に点呼をしてバスに乗り込み、最初に向った視察先は、滋賀県防災航空隊。到着までの車内では、当番市の思惑どおり挨拶を簡単に済ませて「車内研修会」を実施しました。内容は、先に行われた「平成二二年兵庫県消防操法大会」の模様を放映。「消防団の甲子園」とも言われる大会だけに、各団長さんも真剣な眼差しで注視されていました。次回の大会に、阪神地区の代表として出場する消防団に対し、大

で、新入団員の確保につなげます。

番組内容は約二〇分間で、春の初式や暑い夏の装備点検、厳冬の放水訓練など、一年間の消防団活動を通じて、団員の生の声や、彼らを支える家族の意見なども交えて、消防団が抱える問題点や今後の課題をわかりやすく映像化しています。

少子高齢化や住民意識の変化による団員数の減少や高齢化をどう乗り切っていくかを番組を通じて訴え、今後の新入団員の勧誘活動の協力と理解を求めています。

番組内容は約二〇分間で、春の初式や暑い夏の装備点検、厳冬の放水訓練など、一年間の消防団活動を通じて、団員の生の声や、彼らを支える家族の意見なども交えて、消防団が抱える問題点や今後の課題をわかりやすく映像化しています。

少子高齢化や住民意識の変化による団員数の減少や高齢化をどう乗り切っていくかを番組を通じて訴え、今後の新入団員の勧誘活動の協力と理解を求めています。



豊田市防災センター

会得上位に入れるよう、期待のこもった車内研修となりました。続いて消防団啓発ビデオも放映、終始、消防団談義に活発な意見交換ができました。研修の甲斐あつてか、あつという間に、視察先に到着。忙しい訓練の合間に、視察を受け入れていただいた航空隊の方々の出迎えを受けた後、各救助資機材の展示、そして航空隊長の講義と研修が行われ、各団長さんも熱心に耳を傾けていました。天候が回復したお陰で、実機訓練では、近距離でヘリの風圧を肌身で感じながら、迫力ある訓練視察と



油圧カッターによる廃車のドア開放



チェーンソーによる角材の切断実技講習

消防団員の救助資機材取扱い技術の向上を図り、団員の災害現場活動の充実強化に寄与することを目的とした、「消防団員救助資機材取扱い講習」が、平成二二年一〇月二四日(日)、兵庫県広域防災センターにおいて総務省消防庁の主催により実施され、県内各地から合計三五名の消防団員が出席しました。一時間程度の資機材取扱い説

明、資機材の点検・整備及び安全管理について学習した後、三班体制により、油圧カッター及びストラライカーによる廃車のドア開放及び切断実技講習、エンジンカッターによる丸鋼管の切断実技講習、チェーンソーによる角材の切断実技講習が行われ、参加された団員の方には受講証(バッジ)が配布されました。

なり、一日目の視察研修を終了しました。

二日目、各団長さんは朝早くから露天風呂に繰り出し、朝食、身支度もそこそこに、視察先である豊田市防災学習センターへ出動いたしました。はじめに、豊田市の防災対策についての説明があり、その後、センター内にある、五つのコーナーとして、「暴風」・「地震」・「消火」・「煙脱出」・「一一九番通報」を体感。日頃は指導者の立場である団長さん方も、自然に手に汗を握るスリルある経験をされ、まさか、団長さん同士が、しがみつ

くシーンも……(目撃)。やはり災害は初心を忘れずべからず」でしょうか?

視察の締めくくりとして、各消防団が、「一致団結」し「共に助け合う」ことを再確認し、

消防団員救助資機材 取り扱い講習

兵庫県消防課

平成二二年四月一日現在の 消防団員数(速報値)を公表

総務省消防庁において平成二二年四月一日現在の消防団員数(速報値)が公表されています。全国的に団員数の減少傾向が続いており、本年度の団員数は八八三、七一〇人(前年度より一、六八四人減少)となっております。

本県では、条約定数が四七、一〇人(前年度より三七四人減少)に対し、実員数が四五、〇二六人(前年度より三九五

減少)であり、全国一位の団員数を誇っています。

消防団員総数が減少傾向にある中でも、女性消防団員数は年々増加しており、本年度では、三二八人(前年度より一六八人増加)となっております。震災前の平成六年度と比較しても、二〇八名も増加しています。

また、他府県の団員数につきましても消防庁のホームページにおいて閲覧ができます。

今回の研修を終了としまし、来年度も、更に、充実した視察研修を行いたいと思います。本県にお疲れ様でした。

- ・操法最適ホース : コンベVシリーズ
- ・小型動力ポンプ : ラビットダイヤモンドフジシリーズ
- ・小型動力ポンプ積載車(標準型・全自動型)
- ・消防ポンプ自動車(モリタ)
- ・消防用資機材全般



有限会社 西垣消防器具製作所
669-5213 兵庫県朝来市和田山町玉置461
TEL:(079)672-3131
FAX:(079)672-3132
E-mail: fp-nishigaki@eagle.ocn.ne.jp



わがまちの団長さん

171

安全・安心の

まちづくり

朝来市消防団長

石原 武士



朝来市消防団は平成一七年四月に朝来市誕生と同時に発足し四支団、三二分団、団員数一〇一八名、車両四八台の大部分となり、現在も、従来からの

出動体制を維持し、消防活動を行ってまいります。

石原団長は、昭和四二年に消防団に入団、平成一七年から朝来市消防団和田山支団長に就任され、本年四月から第三代朝来市消防団長に就任されました。

石原団長の家業は自動車販売店(株)石原モータースを経営されており、親子二代で消防団に属されており、従業員のほとんどが消防団員といった生粋の消防人であります。

また、国際交流協会の副会長の要職にあり今年八月には、中国内蒙古自治区に親善大使として派遣され、市の国際交流に多

大な貢献をされています。

写真から窺えるとおり、温厚で、人情味溢れるお人柄で常に団員に対しても気遣いを忘れな

い優しい団長です。しかし、災害発生時には、合併による管轄区域の広域化にもかかわらず、いちはやく災害現場に駆けつけ、陣頭指揮をとられ、常に冷静で的確な指示を出されるなど行動力に溢れる団長です。

現在、団組織の再編や消防車輻配備の見直しなど課題も山積していますが、朝来市消防団の発展と安全安心のまちづくりの実現に邁進されています。

わが国では、明治時代からすでに各集落に自衛消防として私設消防組が組織されてきました。しかし、当時村であった有野地域に全村的な消防組織が出来たのは昭和四年でした。各集落の私設消防組を統合し公設有野消防組が誕生し、組織の充実を図るとともに統一的指揮系統を確立して消火体制が確立されました。

組織の長を組頭と称し、初代組頭には吉田村長が就任しました。昭和一八年には有野消防団と改称され、戦後の昭和二二年に有野村が神戸市に編入され神戸市有野消防団になりました。そして昭和五八年に神戸市の消防団組織の改組により一消防署一消防団となり、北区内の八町の消防団が一つの北消防団に統合されたことから、有野消防団は北消防団有野支団となりました。

近年では、住宅用火災警報器の普及や消火栓や耐震性防火水の普及がすすんでいます。

消防団 今昔 73 神戸市北消防団 有野支団 支団長 向井 正義

槽が整備され地域の防火体制も順次向上してきています。しかし、時代の変化とともに災害の形態も多様化してきており、地域を様々な災害から守るため、消防団活動の必要性は依然高いものがあるため、これまで以上に地域の防災リーダーとして有



積 載 車

四日未明下唐櫃で失火による火災が発生し、強風にあおられ、二〇数戸に延焼しました。陽気寮火災 昭和六一年七月三十一日に岡場地区の知的障害者授産施設「陽気寮」で火災が発生し不幸にも八名の方が焼死されました。この時、一七〇名の有野支団は積載車七台と小型動力ポンプ八台で現場に駆けつけ、遠隔水利のため周囲の水田かんがい用水を一箇所に集め水利を確保したり、有野川からホース延長し常備消防隊に送水したり消防活動の支援をしました。

(主な災害) 下唐櫃大火 昭和三三年七月

地区通信

淡路市消防防災機関連絡協議会

ゴルフコンペ開催

淡路市

平成二二年九月一九日(日)晴天の下、午前八時より淡路カントリー倶楽部(淡路市生田田尻池の谷六二九番地)に於いて、淡路市消防防災機関連絡協議会ゴルフコンペ(一八ホール、パー七二、ストロークプレー、ダブルペリア方式)が、淡路市消防団、兵庫県淡路警察署、淡路広域消防事務組合及び、淡路市など各消防防災機関の一層の親睦と協力を深める事を目的に協議会設立以降初めて開催されまし

た。行政合併前、本協議会の前身である津名西警察消防協議会、岩屋警察消防協議会の両協議会の時代には、ソフトボール大会が開催されていましたが、チームの力の差や、年齢以上のハッスルプレーによるケガなどがあるので、本協議会ではソフトボールに替わるものとしてゴルフコンペが企画されました。当日、集まった選手は、腕に覚え有りの人や、参加する事に

意義があるという人、何年ぶりのゴルフやろうと言いながら参加する人など腕前の方はバラバラですが、秋の一日、大いに親睦を図りながら、また、野山を駆け回りプレーを楽しみました。コンペ終了後、倶楽部ハウスにて表彰式と懇親会が行われ、各防災機関が参加するなか、消防団員が優勝した際には会場から大きな歓声があがり、また、懇親会においては、日ごろの消防団活動やゴルフ談義に花がさき、時間の経つのも忘れるほどでした。



始球式を行う向内消防団長(右)、門淡路市長

われら若手消防団員

消防団に入団して

加古川市消防団

鳩里分団

中谷 秋彦



私は、今年四月から加古川市消防団鳩里分団に入団し、消防団活動に励んでいます。

以前から消防団への入団のお話がありました。が、会社員である私では、火災等の災害時に直ちに現場へ出動し、活動できないのではないかと思いついてまいりました。しかし、今春、兄の友人の団員の方が転勤されたことで、分団幹部の方から強く入団を勧められ、また、先輩団

員の方から消防団活動のお話を聞き、消防団活動を通して何か地域に貢献できないかと思ひ、多少の不安はあったものの入団を決意いたしました。まだまだ消防団員一年生、消防団活動について十分に理解していませんが、加古川市の中心部に位置する我が鳩里分団は、火災発生時はもちろん地震や風水害時に出動し、消火活動、警戒活動、避難誘導など大勢の住民の安全安心を守っています。また、夏祭りや秋祭りの警戒警備、加古川市ツーデーマーチの安全警備、年末特別警戒など地域に幅広く貢献しています。

阪神淡路大震災では、消防団員の方は、自らも被災しているにも関わらず、地震直後から消火、救急、住民の避難誘導、救援物資搬送等の活動にあたりたと聞いております。そういった

活動からも消防団は地元地域防災の要として、必要不可欠な存在だと認識しております。近年、地域社会での人と人との関わりが希薄になったと言われています。確かに我が町でもそうなりつつあることを実感しています。そこで、私たち消防団員が地域に密着した活動をすることで、地域住民の潤滑油となり、地域防災の強化、地域の活性化の一助になればと思っております。

最後になりましたが、消防団活動を通して、地域社会に貢献し、地域住民に信頼され、頼りになる消防団員になれるよう頑張っていきたいと思っております。また、いつどこで発生するかわからない火災や災害に対し、自信を持って活動できるよう訓練に励んで行きたいと思っております。

「こんにちは！ひょうごの消防団です」 http://www.hyogoshoubou.jp/ (財)兵庫県消防協会

故郷を歩く

「コウノトリ」と住む街「豊岡市」

豊岡市

山があり、海もある。四季折々に山間部では山菜取り・スキー・狩猟など、海岸部では、海水浴・シュノーケル・魚釣りなどが楽しめます。

豊岡市は、美しい自然に恵まれた近隣一市五町が平成一七年に合併して誕生した街です。

消防団は、地形環境の違いにより、災害も地域特性があり、多団制を採用しています。山間部での土砂災害、内陸部での水害、海岸部での津波・高潮など、六つの消防団は、合併前のそれぞれの地域を守備範囲として、地域住民の安心・安全のために活躍しています。

今回、私達が管轄している豊岡地域の魅力の一端を紹介させていただきます。

世界が注目している特別天然記念物コウノトリの自然放鳥が平成一七年に行われました。

五〇年にも及ぶ関係者・地域の方々の熱意と地道な努力の賜であります。人と自然の共生を目指し、地域住民の方々の暖かい思いやりで、今では四七羽のコウノトリが青空を背に、大きな翼を広げ優雅に舞っています。



コウノトリ

「日本の地形百選」に選定されている玄武洞は、国指定天然記念物「玄武岩」が柱状節理を形成する不思議な様は、紅葉と共に景観を一段と輝かせます。

地場産業の靴は、伝統技術と新しい感性を基に、「世界を感動させる」を合言葉に、オリジナル靴「豊岡ブランド」が開発され着々と成果を挙げ始め、ヨーロッパでも注目されています。是非、御愛用品に加えてください。

一月六日は冬の味覚「松葉ガニ」の解禁日であります。津居山沖の良質豊富なブランドカニが集まる近海で獲れる津居山カニは、生きたまま陸揚げされ、鮮度と味覚は正に日本一であります。



玄武洞公園



「豊岡靴」認定商品



かに料理

情緒豊かな温泉や地酒などが、皆様を歓迎いたします。是非、お越し下さい。

第二九回全国消防殉職者慰霊祭

第二九回全国消防殉職者慰霊祭が、平成二二年九月一六日、日本消防会館ニッショールホールにおいて、厳粛に執り行われました。

本慰霊祭において合祀されている御霊は、生前に郷土愛護の精神に燃え、住民の生命、身体及び財産を災害から守るため、身を挺し消火活動を行い、また身の危険を顧みることなく懸命な防火活動を行い、不幸にも殉職された全国の消防団員・職員・及び一般協力者の方々です。祭壇には、今回あらたに十柱の御霊が合祀され、あわせて五四一五柱が奉納されました。式典には兵庫県から、岸谷会長をはじめ遺族代表五名が参列し、全国からの多数の遺族の方々と共に、今は亡き肉親の魂との再会を待つ中「御霊の奉納」が行われ、黙祷を捧げた後、高木日本消防協会長の式辞、来賓から追悼のことが続き、最後

平成二二年度 秋季全国火災予防運動

消防庁予防課

消防庁では、「消したかな」あなたを守る合い言葉」を平成二二年度全国統一防災標語とし、平成二二年一月九日から五日までの間、平成二二年秋季全国火災予防運動を実施します。

この運動は、火災が発生しやすい時期を迎えるに当たり、火災予防思想の一層の普及を図り、火災による死傷者及び財産の損失を防ぐことを目的として、毎年「一九番の日」である一月九日から一週間程度実施されています。

火災予防運動の実施に当たっては、住宅用火災警報器の設置が義務化される平成二二年六月に向けた「当面の重点実施項目」や住宅火災による死者の発生防止対策の要点をまとめた「住宅防火 いのちを守る 七つのポイント」を活用し、積極的な広報を行うこととしています。

そして、この運動を機に地域住民に対し、日頃忘れがちな火災に対する警戒心の喚起を行い、一人ひとりに防火の重要性を自覚させ、日常生活での防火の実践を働きかけましょう。

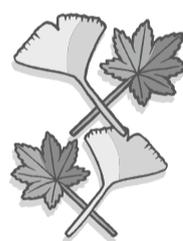
編集後記

だんだんと肌寒くなってきましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。また、この時期は地域の行事等が多く皆さま忙しくされていることと思います。

さて、今月号では、ひょうご消防のついで二〇一〇、女性消防団員研修会等、県・県消防協会主催の行事について掲載しています。

また、今月も各地区、各支部から多数寄稿していただき、ありがとうございます。

これからますます寒さが増し、暖房などの火の気を多く使う季節となりますが、取り扱いには十分に注意したいものです。



「消したかな」あなたを守る 合い言葉



備えよう！ 住宅用火災警報器

秋の全国火災予防運動 11月9日～11月15日

- 一、普及率調査の結果を踏まえた重点的取組
- 二、共同購入等の先進的ノウハウの普及
- 三、住宅防火に係る総合的な啓発と併せた普及啓発
- 四、住宅用火災警報器の効果・奏工事例を活用した広報活動
- 五、高齢者世帯など設置困難世帯への対応強化

備えよう！ 住宅用火災警報器 URL: http://www.boukakiki.or.jp

平成22年秋季全国火災予防運動広報ポスター

消 防 団 服

- 甲 種 日毛・帝人・東レ団服・作業服・制帽
 - 乙 種 刺子・木綿
- ハッピー・ズボン・腹掛・革バンド
- 附属品一式

キンバイホース 兵庫県特約店

株式会社 三 浦 消 防

姫路市竜野町1丁目1番地
電話 (姫路) 92-0447
(0792) 98-8663